

◎第25回 WAS（性の健康世界学会）学術集会・報告

LEAVE NO ONE BEHIND（誰ひとり取り残さない） 新時代における挑戦と新たな可能性

2021年9月9日～12日、「第25回 WAS（性の健康世界学会）学術集会」が南アフリカ共和国で開催された。初のオンライン開催となり、国際会議の醍醐味とも言うべきいくつかの要素が失われた面は否めないが、社会的要請に応えるというばかりでなく、創意工夫が凝らされた会議運営によって、新しい時代の新しい WAS 国際会議の方向性が示唆されるなど、重要な転換点ともいべき会議となった。

大阪府立大学教授 東 優子

WAS について

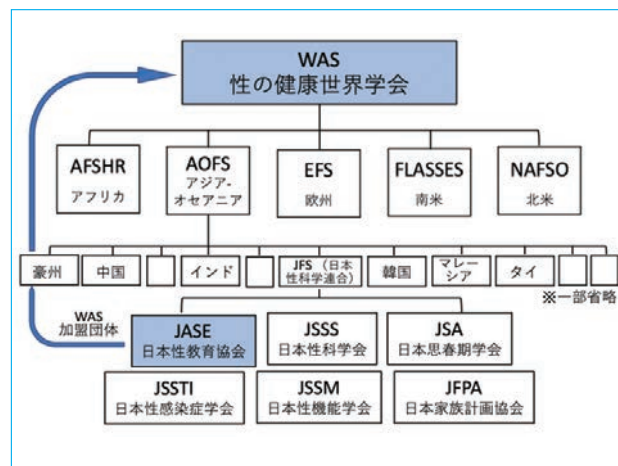
WAS（World Association for Sexual Health）は、「性科学、セクシュアリティ研究、包括的セクシュアリティ教育、臨床的なケア及びサービスを世界規模で推進することを通じて、あらゆる人々の生涯にわたる〈性の健康と権利〉を保障していくこと」を活



Hosted by WAS
in association with SASHA



図1 WAS と JASE（日本性教育協会）の関係性



動目的とした学会組織で、1978年に「世界性科学学会」(World Association for Sexology)として発足した。活動の中でもとくに有名なのは、「性の権利宣言」(1999年初版：2014年改訂版)の策定である。「性の健康」および「性の権利」の仮定義 (working definition) を発表したWHOや『国際セクシュアリティ教育テクニカル・ガイダンス』を発表したUNESCOとも協力関係にある。

世界5大陸にはWASの地域支部ともいえる連合体が存在しており、隔年開催のWAS国際会議がない年には、アジア-オセアニア(AOFS)、ヨーロッパ(EFS)、南米(FLASSES)、北米(NAFSO)、アフリカ(AFHR)が、それぞれの地域で国際会議を主催している。また国内では、JASE(日本性教育協会)、JSSS(日本性科学学会)、JSA(日本思春期学会)が加盟団体に登録している(図1参照)。

「初めてづくし」の WAS 国際会議

今回の WAS 国際会議は、いろいろな意味で初めてづくしだった。

まず、40 年を超える WAS の歴史で、アフリカ大陸での開催は初めてのことである（表 1 参照）。SDGs（持続可能な開発目標）の基本理念としてよく知られる「誰ひとり取り残さない（Leave No One Behind）」が大会テーマに選ばれた理由も、まさにここにあった。

それゆえ、アフリカ大会の成功に向けた WAS の意気込みには並々ならぬものがあったわけだが、新型コロナ・パンデミックという未曾有の事態に直面することになる。状況判断が難しい中で準備を進めなければならなかった SASHA（南アフリカ性の健康協会）の苦勞は計り知れないが、結果としては、「お金をかけずに収益をあげる」ということを含めて、新しい時代の新しい国際会議運営モデルを示すことに成功したと言える。


準備期間中、WAS および国際会議の広報を兼ねて、14 本もの連続ウェビナーが無料公開されたことも、性科学・性教育の裾野を広げることにつながったのではないだろうか。「包括的セクシュアリティ教育」、「性的同意」や「ジャスティス（正義）」など、今日もっとも熱い関心が注がれているテーマが扱われ、毎回の参加者は数百名を超えた。なお、これらの講座はすべて YouTube の「WAS チャンネル」で、現在も公開中である。

アフリカ大会の概要

総会で報告されたところによれば、参加登録者は約 50 か国から参加した 1505 名（内、915 名がアフリカ諸国からで、さらにその 640 名は開催国である南アフリカ共和国からの参加者）だったという。参加者数が 1000 人を超えたのは、8 年前のポルトアレグレ（ブラジル）大会以来のことである。

初のオンライン会議になったことで、国際会議の醍醐味ともいべき要素がいくらか失われたことは否めないが、Whova という受賞歴のある学会アプリケーションを使ったヴァーチャル空間は、想像していたより快適で、実際の会場を歩き回るような感覚にも似た

表 1 WAS 世界会議の歴史



開催年	都市	国	参加人数
1974	パリ	フランス	-
1976	モントリオール	カナダ	-
1978	ローマ	イタリア	3,000
1979	メキシコシティ	メキシコ	1,600
1981	エルサレム	イスラエル	1,000
1983	ワシントンDC	米国	1,600
1985	ニューデリー	インド	1,000
1987	ハイデルベルク	ドイツ	1,200
1989	カラカス	ベネズエラ	1,800
1991	アムステルダム	オランダ	1,200
1993	リオデジャネイロ	ブラジル	1,500
1995	横浜	日本	730
1997	パレンシア	スペイン	2,000
1999	香港	香港	1,000
2001	パリ	フランス	3,000
2003	ハバナ	キューバ	2,500
2005	モントリオール	カナダ	1,200
2007	シドニー	オーストラリア	800
2009	ヨーテボリ	スウェーデン	1,000
2011	グラスゴー	英国	1,250
2013	ポルトアレグレ	ブラジル	1,100
2015	シンガポール	シンガポール	380
2017	プラハ	チェコ	650
2019	メキシコシティ	メキシコ	460
2021	ケープタウン	南アフリカ	1,500

表 2 第 25 回 WAS 国際会議のプログラム

プログラムの種類	本数
招待講演・基調講演	19
円卓会議	4
シンポジウム（90 分）	15
シンポジウム（60 分）	39
口頭発表	159
ポスター発表	165

体験ができた。

4 日にわたるセッション、レクチャー、ディスカッションは複数同時にライブ配信され、実際の会場を歩き回るように、いろいろな部屋を自由に出入りすることができた。講演や発表の最中にも、Q&A ボックスやチャット機能を使って参加者同士がコメントし合ったり、関連情報の共有ができるというのは、ヴァーチャルな会議ならではの利点と言える。

さらに Whova では、自分専用のアジェンダが作成でき、あらかじめ登録しておく、参加したいセッシ

ヨンの開始をリマインドしてくれる機能がある。共通の興味や背景をもつ参加者同士も見つけやすく、交流するための「コミュニティ」を自在に作成することもできる。SNSのように写真や記事を共有する広場があり、発表者の文献資料をダウンロードすることもできた。

時差7時間という、南アフリカからのライブ配信はすべて録画され、12月末まで繰り返し視聴することができるようになっている。会議が終了した現在でも新規登録することが可能なので、まだの方にはぜひオススメしたい。

セクシュアル・ジャスティス (Sexual Justice) への取り組み

アフリカ大会を特徴づけるキーワードはいくつもあるが、敢えてひとつに絞るとすれば、それは「セクシュアル・ジャスティス」であろう。

前述の連続ウェビナー企画でも「セクシュアル・ジャスティスの視点」(2021年2月17日)が取り上げられ、アフリカ大会のオープニング・イベントにも「セクシュアル・ジャスティス・インダバ」が選ばれた(インダバ= indaba というのは、アフリカ南部で「重要な問題を議論する代表者会議」を意味するズールー語やコサ語に由来し、従来は涼しい木陰で人々が集まって行われてきたものを指すという)。

ジャスティス (justice) の日本語訳には「正義」や「公正」の両方があるが、この文脈においては後者のニュアンスにより近い。言い換えれば、「性の権利」と「社会公正 (としての正義)」が交差するところに位置づけられるのが、セクシュアル・ジャスティスなのである。

もっとも、「性の権利宣言」には、人間の尊厳、平等、自律などと並んで、ジャスティスがすでに登場している。それでもなお、改めてこれに焦点化する理由は、「性の権利」を単なる理論的な枠組みに終わらせず、実効性を伴うものにしていくことにある。

より具体的には、情報・教育・医療の質の担保とアクセシビリティを保障することであり、同意を伴わない、望まない性行為・生殖行為からの自由と保護を含め、暴力にさらされることなく、あらゆる人々が尊厳をもって扱われ、人生における喜びと楽しむことがで

きるようにすることを意味する。

「世界におけるジェンダーの多様性を支援するための行動に関する声明」

会議初日に「セクシュアル・ジャスティス・インダバ」に続いて開催されたのが、本大会における目玉のひとつである「トランスおよびジェンダーの多様性に関する集会」だった。4時間にもおよぶこの集会は、4つのセッションで構成され、その議長と登壇者のすべてがトランスとジェンダーの多様な人々およびインターセックスの人々のいずれかに限定されていた。

このような集会が企画された背景は、この前段となる集会が開催された前回のメキシコ大会に遡る。TGD (インターセックスを含む、トランスおよびジェンダーの多様な人々) 当事者コミュニティを代表する個人や団体からの要請で、TGDの人々の自己決定、尊厳、インテグリティの保障に関連する知識を深めることを目的としたコンサルテーション会議が開催され、WASに対する要望として所信を表明することが求められた。焦点化された問題が何であったかは、セッション1で発表された「世界におけるジェンダーの多様性を支援するための行動に関する WAS 声明」(2021年8月10日 WAS 理事会で承認) に詳しい。

その声明の中で WAS は、「長年にわたり、TGDの人々が病理化されることに反対するエビデンスを提示することに一貫して取り組み、またこの問題について他の団体と協力してきた。」としながらも、以下の反省点を挙げている。

- TGD 当事者コミュニティと十分な関わりをもつてこなかった
- 当事者コミュニティで共有されているナラティブ (物語) や理論に十分な注意を払うことなく、病理化につながるジェンダーの発達理論を展開する講演者を大会に招聘してきた。
- TGDの人々の健康とウェルビーイングに対する病理化の影響に関する、いくつかの重要な考察を無視してきた。

上記を含め、今後の改善点や取り組みについて詳しく書かれた声明の全文は4頁 (A 4版) の長きにわ

たる。日本国内でも ICD-11 で「性同一性障害」が削除されたことを含め、国際社会の潮流が非病理化にあることが認識されるようになってきた。

しかし、その一方で、GID 学会の「エキスパート研修」を通じた専門家養成は、認定医だけでなく、医療系コーディネーター、さらには教育系コーディネーターなどに拡大している。こうした研修モデルがどういった理論に依拠するものかを考えるとき、専門家主義への反省が WAS の「宿題」の中心にあったということに、私たち関係者は無関心であってはならないと思う。

新理事に早乙女智子さんが当選

第 25 回総会では、前回のメキシコ大会で発表された「セクシュアル・プレジャー宣言」が、改めて正式に承認された。また、理事 (Advisory Committee) の改選が行われ、「ひとつのジェンダーが 6 割を超えないこと」「5 地域すべての代表者が含まれていること」という、会則にある 2 つの条件を満たす 19 名が選出された。そのうちの一人が、JASE (日本性教育協会) の運営委員であり、日本性科学学会の副理事長である早乙女智子さんである。

新しい会長 (理事長) には、アフリカ大会を大成功に導いた医師・エルナ・ルドルフが、副会長には関西性教育研修セミナー (2012 年) の講師をお願いしたこともある、フランスの社会心理学者アラン・ジアミが就任した。強力なリーダーシップのもと、新体制となった WAS の今後の飛躍を期待したい。

LEAVE NO ONE BEHIND (誰ひとり取り残さない)

1500 名が参集した会議の成功を踏まえ、「今後、パンデミックが収束したとしても、対面式のみという会議形態に戻ることはないだろう」という声がある。華やかな国際会議で最大のネックは、お金がかかることにある。それゆえ参加に係る費用 (渡航費・宿泊費を含む) も高額になり、裾野を広げるために「学割」などを設けてなお、従来の参加者は一部の「特権のある人々 (privileged people)」に限られてきた。しかし今回は、「誰ひとり取り残さない」というテーマにふさわしい、多様性に富む WAS 国際会議になった。

とくに、若者を含む「周縁化されてきた人々」の積極的参加を促進するために、オランダに本部を置く Hivos をはじめとする複数の国際 NGO が数百名の若者の参加を可能とする助成金を拠出し、ミネソタ大学セクシュアル/ジェンダー・ヘルス研究所が TGD に特化した奨学金制度を設けた。オンライン開催になったことで、渡航費・宿泊費が不要となったことも功を奏した。

Nothing about us, without us (私たち抜きで、私たちのことを語らないで) という、障がいのある人々の権利運動で生まれた重要なスローガンがある。東南アジアやアフリカなど、特定の地域の人たちがいない、若者不在、TGD 当事者不在といったことがないよう、今後ますます「誰ひとり取り残されない」国際会議になっていくことを期待したい。

『日本性教育協会 50 年史』発刊のお知らせ



1972 年 2 月にわが国では最初であり、唯一の性に関する法人として創立以来、みなさまの温かいご支援とご指導のもと、順調に事業を進めております一般財団法人日本児童教育振興財団内 日本性教育協会は、2021 年 3 月をもちまして、50 期の事業を無事終了することができました。感謝申し上げます。

このたび一区切りとして、『日本性教育協会 50 年史』を作成いたしました。当協会運営委員会運営委員の先生方を中心としたご寄稿や座談会、第 1 期から 50 期までの事業報告、さまざまな事業に関する資料などをまとめたものです (320 ページ)。あくまでも内部資料の意味合いを持ったもので、作成部数も少量です。研究等でご覧になりたい方は直接当協会までお出でいただければ幸いです。お手元にほしいという方については、誠に勝手ながら 1000 円 + 送料でお分けいたします (在庫がなくなり次第終了とさせていただきます)。引き続き、ご指導ご鞭撻のほどよろしくご依頼申し上げます。

日本性教育協会事務局